

Nagoya Citizens' Orchestra The 85th Regular Concert

名古屋市民 管弦楽団

第85回定期演奏会
2022年6月12日(日)

- 開場/12:30 開演/13:30
- 愛知県芸術劇場コンサートホール
- 全指定席(大人・子供)/1,500円
※未就学児入場不可

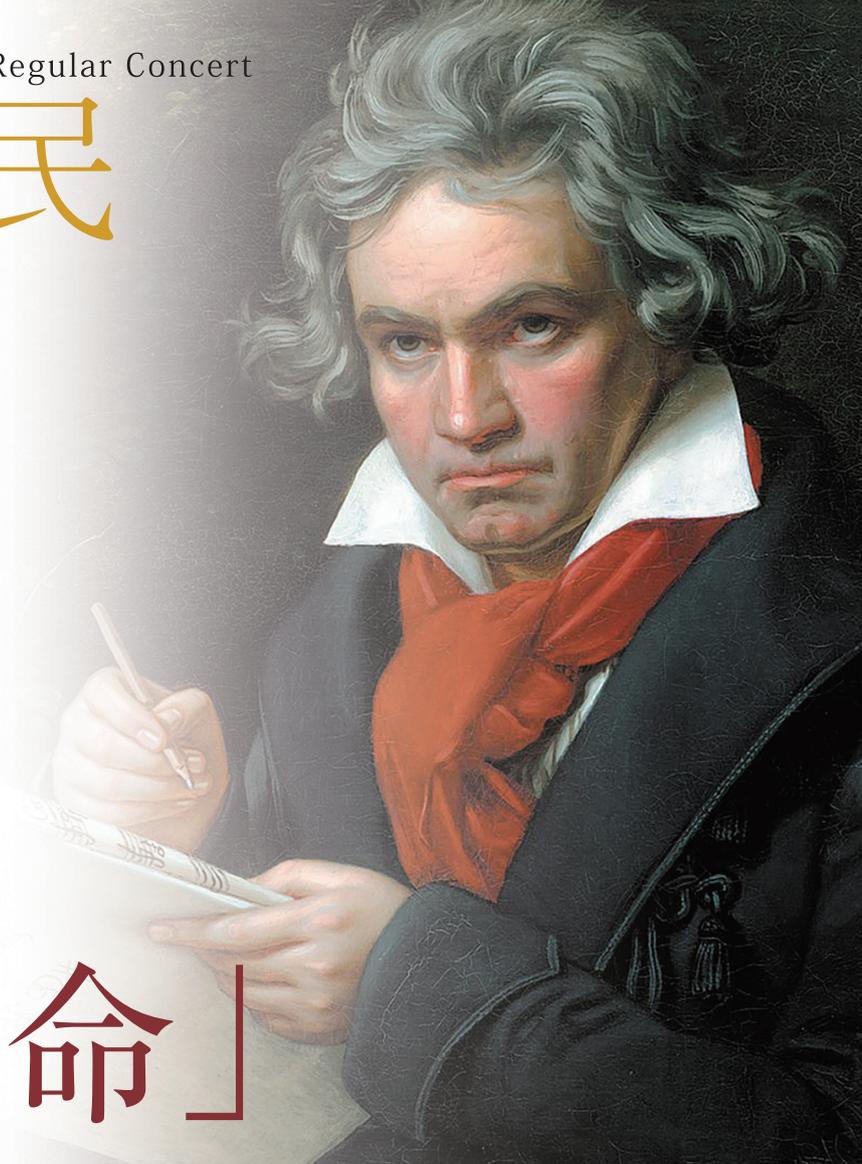
Ludwig van Beethoven

ベートーヴェン／

交響曲第5番

ハ短調 作品67

「運命」



指揮
佐々木 新平
Shimpei Sasaki

Edward Elgar

エルガー／創作主題による変奏曲「エニグマ」

Richard Wagner

ワーグナー／歌劇「タンホイザー」序曲



チケットのお取り扱い（郵送も可）

芸文
プレイガイド ▶ 052-972-0430

公演についてのお問合せ先

名古屋市民
管弦楽団 ▶ <https://www.nco.jp/>
0574-65-1837（松井）

後援 愛知県、名古屋市教育委員会

新型コロナウイルス感染症対策実施に伴うお客様へのお願い

- ご来場の際は、マスクの着用・手洗い・消毒など十分な感染予防をお願い致します。
- 出演者へのプレゼントはお受けできません。クローク及び託児サービスはご利用いただけません。
- 会場内で新型コロナウイルス感染者が出た場合、保健所等の指導に従ってご来場者様の個人情報を提供する事をご了承ください。

Nagoya Citizens' Orchestra The 85th Regular Concert



PROFILE

指揮 佐々木 新平
Shimpei Sasaki

秋田県出身。東京学芸大学芸術文化課程音楽専攻を経て桐朋学園大学にて指揮を専攻。ヨーロッパ各地の国際指揮マスタークラスに選抜され、J.バヌラ、H.アンドレシュク、M.ストリンガーら巨匠たちの薫陶を受ける。2013年よりミュンヘンへ留学。ドイツを中心にヨーロッパ各地でさらなる研鑽を積んだ。2012年の第9回、2017年の第10回フィテルベルク国際指揮者コンクールにおいてディプロマ、2015年プザンソン国際指揮者コンクールにおいて本選最終の8人に選出。これまでに東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、大阪フィルハーモ

ニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、岡山フィルハーモニック管弦楽団、広島交響楽団、東京混声合唱団、東京佼成ウインドオーケストラ、東京吹奏楽団、シエナ・ウインド・オーケストラ、オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ等、国内主要楽団に客演。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団においては2010年より指揮研究員を務め、飯守泰次郎、矢崎彦太郎両氏をはじめとする指揮者のもとで活動。その後2019年まで同楽団アソシエイト・コンダクターを歴任した。2021年1月にはヤマハ吹奏楽団常任指揮者に就任し、吹奏楽の新たな境地を切り開く俊英としても期待が寄せられている。また2022年6月より出身地秋田市に誕生する“あきた芸術劇場”（愛称 ミルハス）の音楽部門アドバイザーに就任することが発表されている。

現在オーケストラを中心に、吹奏楽、合唱、オペラ、バレエ等あらゆるシーンで才能を発揮。その活躍の様子はNHK-Eテレ“クラシック音楽館”、NHK-BSプレミアム公開収録コンサート、テレビ朝日“題名のない音楽会”、BSフジ“辻井伸行 in 富士山河口湖ピアノフェスティバル”、岩手朝日テレビ“Road to Higher Next”等で放送された。その他、オーケストラによる多彩なCDレコーディングや映像収録、公式イベントでの指揮、さらに映画「マエストロ!」や「海賊とよばれた男」等名作における出演者への指揮指導および劇中音楽のスタジオ収録指揮を務めるなど、多方面に活動の幅を広げている。しなやかな足取りで、ひたむきに遥かなる高みに向かう若き指揮者。

名古屋市民管弦楽団 Nagoya Citizens' Orchestra

1958年「労音オーケストラ」として結成され、名古屋に本拠を置く社会人オーケストラとして自主的な活動を行っている。1968年に「名古屋市民管弦楽団」と改組。

1978年に名古屋市から「第3回名古屋市芸術奨励賞」を、1979年には愛知県から「愛知県芸術選奨文化賞」を受賞。1983年には、指揮者・小林研一郎に率いられ、ハンガリーのブダペストにて公演を行う。1992年には、名古屋市民芸術祭1992主催公演としてプッチーニのオペラ「トゥーランドット」を演奏し、好評を博した。その他、ガーシュイン「パリのアメリカ人」他のアメリカ音楽による演奏会（指揮：山田和樹）やラヴェル「ラ・ヴァルス」他のフランス音楽による演奏会（指揮：松尾葉子）、ホルスト「惑星」全曲（指揮：山下一史）、ファリャ「三角帽子」他のスペイン音楽による演奏会（指揮：松尾葉子）などの企画にも取り組む。2011年、名古屋マーラー音楽祭参加公演としてマーラー「交響曲第6番」（指揮：現田茂夫）を演奏。2018年、創立60周年を迎え、記念演奏会にてベートーヴェン「交響曲第9番」（指揮：山下一史）を演奏した。



団員募集中

詳細:当楽団ホームページ
<https://www.nco.jp/>